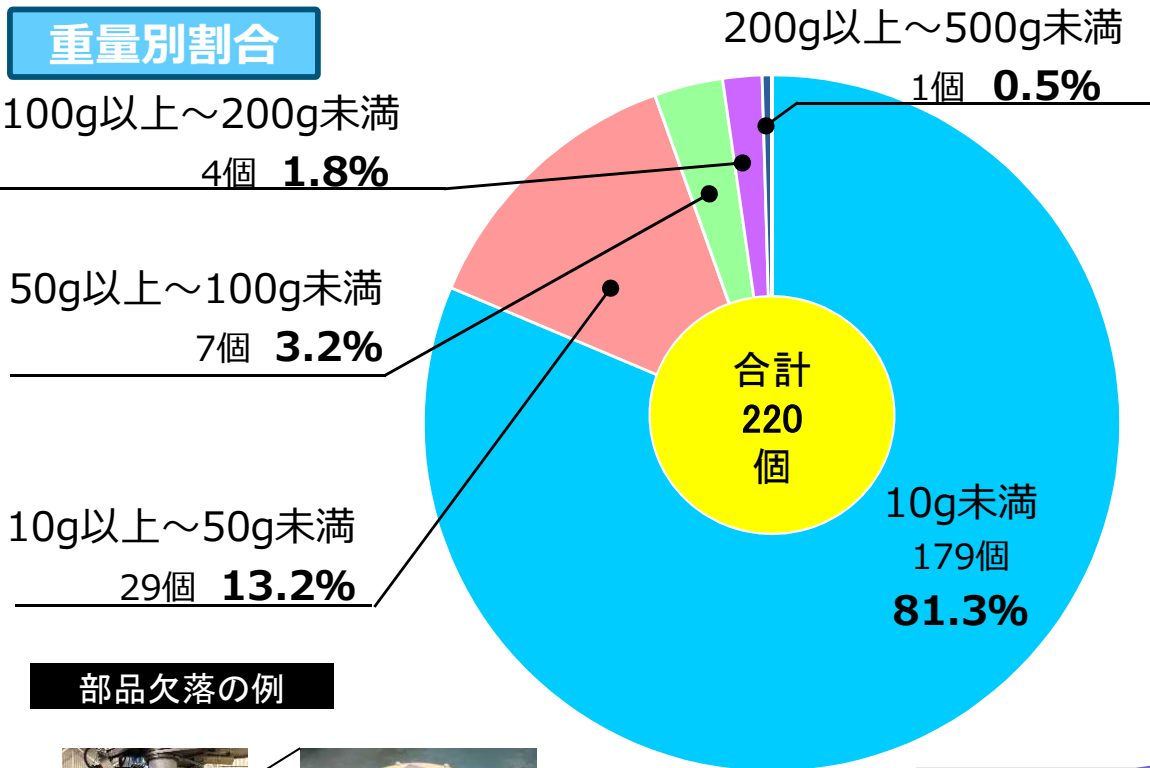


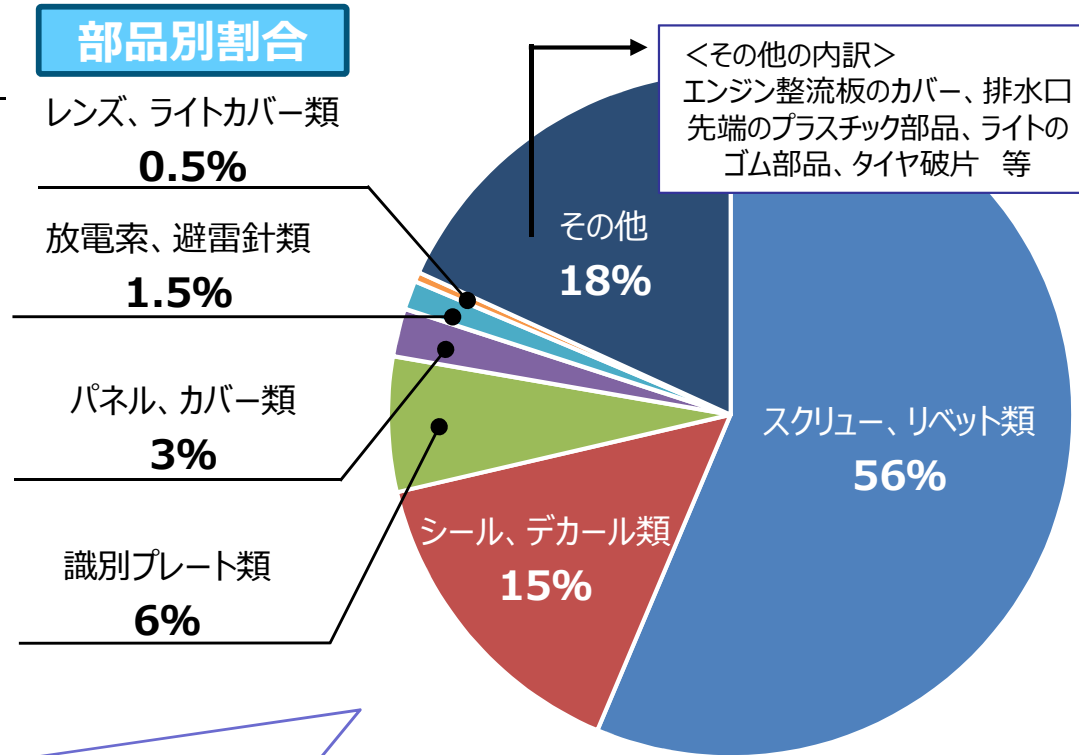
2020年6～7月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2020年6～7月に報告された欠落部品の総計は220個であり、そのほとんどは100g未満、8割以上は10g未満である。
- 減便が発生していた当該期間においても、駐機中の機体を含めて徹底的な点検等が実施されている。例えば、タイヤ部分のカバーのスクリー類(計1g程度:下図参照)の欠落を受けて、欠落が確認された航空機と同一型式機を運航する本邦航空会社において、集中的な追加点検及び緩み止めの塗布等の再発防止策が講じられている(その後、9月末までに当該部品の欠落の報告はされていない)。

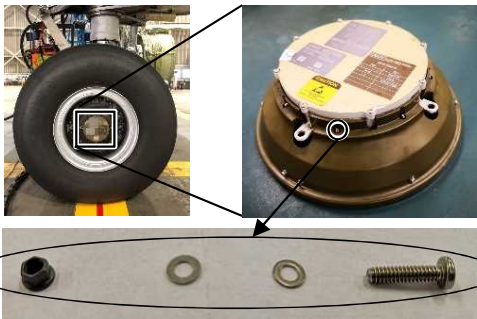
重量別割合



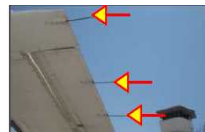
部品別割合



部品欠落の例



スクリー類



放電索



シール

- 部品欠落報告の5割以上は、スクリー、リベット等の留め具であり、重さは1グラム～10グラム程度のものがほとんど
- シール、デカル類の材質はゴム等であり、重さは1グラム～150グラム程度
- 識別プレート類の材質は薄い金属材料であり、重さは1グラム～15グラム程度
- パネル類の材質は金属、複合材等であり、重さは5グラム～100グラム程度
- スタティックディスチャージャー(放電索)、避雷針類の材質は金属、複合材等であり、重さは1グラム～20グラム程度
- レンズ、ライトカバー類の材質はガラス、アクリル等であり、重さは100グラム程度